事務事業評価シート　平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

所管課	消防本部	担当班	総務課消防団班

事務事業名	コード	33800	消防庫整備事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	9	1	2

施策体系						
	基本施策	30	消防力の強化	根拠法令	消防組織法第18条第2項及び消防力の整備指針	
	施策の展開	59	非常備(消防団)消防体制の充実	戦略事業	262	消防庫の整備
	施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☑ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☑ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☐ 平成 ＿ 年度～ ☑ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 ＿ 年度～ 平成 ＿ 年度まで	既存の消防庫の内、耐震性に難があり老朽化が顕著な消防庫から改築を進める。消防庫は地域防災において重要な役割を担う消防団の活動拠点となる。 消防庫の建設用地は地元区で選定し、民有地の場合は地元区と地権者の間で貸借契約を結ぶ。 市は地元において用意された土地に消防庫を建築する。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
・消防団が設置された当時よりある。合併前(海上・飯岡・干潟)の消防庫は地元各区が主体となって消防庫を建てていた(自治体としての関与は補助金の交付)。消防団の活動拠点として市が建築することにより統一した消防庫が建築することができる。	・材料費や燃料価格の高騰、建設業界の人手不足等により、契約金額が年々増加している。	・地域防災の拠点として地元住民からの要望は高い。 ・建設用地の選定が難しい。候補地を見つけても無償貸与の契約を締結できない。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)		単位:千円
1.設計・監理委託料	2,592	設計委託料(確認申請手数料含む)・監理委託料
2.工事費(消防庫改築)	31,862	消防庫改築工事
3.工事費(解体・撤去)	1,026	未使用となった古い消防庫の解体撤去費用
4.上水道給水申込納付金	108	上水道給水申込納付金
5.その他	60	手数料

② 特定財源の内訳(27年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	2,657	消防防災施設強化事業補助金
3.地方債	31,200	消防施設整備事業債(合併特例債8,300千円＋緊急防災減災事業債22,900千円)
4.その他	1,719	繰越金

前年度増減理由	消防庫改築工事で入札不調が続いたことにより、年度内事業完了が困難になり、明許繰越事業となったため。(年度内に契約し、契約金額の約半額を前金払いし、残りを完成後支払い)

事業費		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
費目内訳	1. 設計・監理委託料	千円	3,061	2,993	1,782	2,592	4,000
	2. 工事費(消防庫改築)	千円	29,925	35,282	11,230	31,862	59,054
	3. 工事費(解体・撤去)	千円	1,873	1,829	410	1,026	2,878
	4. 上水道給水申込納付金	千円	105		0	108	216
	5. その他	千円				60	
事業費計 (A)		千円	34,964	40,104	13,422	35,648	66,148
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円	2,275	5,166	0	2,657	8,980
	3. 地方債	千円	26,700	31,300	12,300	31,200	54,000
	4. その他	千円				1,719	
	5. 一般財源	千円	5,989	3,638	1,122	72	3,168

従事職員数	常時 1 人	最大 2 人 × 20 日 = 延べ 40 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

27年度実績(27年度に行った主な活動)

鉄骨造平屋建て 2棟
・第4中隊(飯岡)第2分団第2部 翌年度繰越
・第5中隊(干潟)第1分団第1部 翌年度繰越
鉄骨造2階建て 1棟
・第5中隊(干潟)第2分団第1部 前年度繰越事業 完成

⇨

③ 活動指標名		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	改築消防庫棟数	棟	2	2	1(繰越)	2(繰越)	2
イ	解体・撤去消防庫棟数	棟	3	4	1	1	4

目的

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)

対象	・消防庫
意図	計画的に更新を行なう。
対象	
意図	

⇨

④ 成果指標名		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	築30年以上経過し老朽化等に伴い改築が必要とされる消防庫数	棟	10	8	8	8	4
イ							

(4)事務事業優先度評価の結果

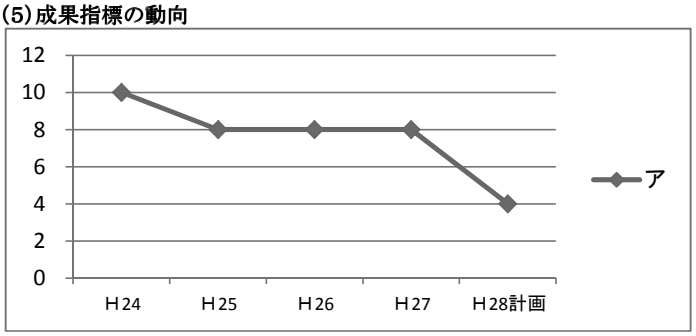
①成果優先度評価結果

	成果向上余地 かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度 大きい			④
普通			
小さい			

②コスト削減優先度評価結果

成果優先度	コスト比率 下位1/3	中位1/3	上位1/3
①			
②③			
④⑤⑥	(4)		
⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容		
① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☑ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難	
【コメント】(停滞・実施困難の場合、その理由)	ほぼ計画通りに順次工事を進めている。ただし資材の高騰などにより建築費が全体的に上昇傾向にあり、2年連続して入札不調の末繰越事業となっている。 東日本大震災関連の復興事業や東京オリンピック等を控えた建設業界の動向を注視する必要がある。	
② 成果の状況	成果指標ア / 成果指標のタイプ / ↘ / 数値減＝成果向上 / ☑ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	
	成果指標イ / ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	
【コメント】(低下の場合、その理由)		

成果動向	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		24年度	25年度	26年度	27年度	28計画
	ア	△ 3	△ 2	0	0	△ 4
	イ					

③ 今年度取組事項(今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容
		鉄骨から木造に変更して、入札参加業者を増やす

今後の方向性
- ☐ 拡大
- ☑ 現状維持
- ☐ 見直し
- ☐ 縮小
- ☐ 廃止・休止
- ☐ その他 (　　)

計画的に改築していく